

健康診断のお知らせ

<健診日時>

令和4年11月10日(木)・11日(金)

午前の部 受付 9:00~11:30(A・Bコース)

午後の部 受付 13:00~14:30(A・Bコース)

<健診会場> 成田国際文化会館 1F 小ホール

<健診内容>

A コース 法定	問診・身体測定・BMI・腹囲・視力・聴力・血圧・尿検査・胸部レントゲン・心電図 血液検査(肝機能、血中脂質、糖代謝検査、貧血検査)
B コース 生活習慣病	問診・身体測定・BMI・腹囲・視力・聴力・血圧・尿検査・胸部レントゲン・心電図 便潜血、 胃がんリスク検診(血液:A B C検診) 血液検査(肝機能、血中脂質、糖尿病確定検査、貧血検査、腎機能、痛風)

<健診料金>

(税込)

検査コース	会員様 健診費用	小規模事業事業者会員様 健診補助額	小規模事業事業者会員様 負担額
A コース 法定	¥8,500	¥1,000	¥7,500
B コース 生活習慣病	¥15,000	¥1,500	¥13,500

*小規模事業者とは従業員規模が工業・建設等20名以下、商業・サービス等は5名以下の事業者です。

補助の対象となる人数は当所に登録してある従業員数の人数を限度とさせていただきます。

<オプション検査> *Cコース以外は血液検査です。

(税込)

<Cコース> 子宮頸部細胞診(子宮頸部のがん細胞形態を調べる検査、自己採取)女性のみ	¥2,000
<Dコース> C型肝炎検査(C型肝炎ウイルス抗体を調べる検査)	¥2,000
<Eコース> 腫瘍マーカーPSA(前立腺がん検査)男性のみ	¥2,000
<Fコース> 腫瘍マーカーCA15-3(乳がん検査)女性のみ	¥2,000
<Gコース> 腫瘍マーカーCA125(卵巣がん検査)女性のみ	¥2,000
<Hコース> 腫瘍マーカーAFP(肝臓がん検査)	¥2,000
<Iコース> 腫瘍マーカーCA19-9(消化器がん検査)	¥2,000
<Jコース> インフルエンザワクチン接種	¥4,000

*腫瘍マーカーとは採血だけで行える検査です。体内にがん細胞が出来ると血液中に特有の物質が流出します。

その物質を測定し、がんを察知するものが腫瘍マーカー検査です。ただし、慢性の炎症や良性疾患、喫煙等にも反応する場合があります。

結果が陽性であっても100%がんとは断定出来ません。陽性の場合は医療機関にて精密検査を受けて下さい。

<お知らせ>

今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、皆様に安心して受診頂けますよう三密を避け感染防止対策を実施の上で健康診断を実施致します。今後の状況によっては中止の場合がございますので、あらかじめご了承ください。健康診断のご希望時間のお申し込みは、先着順とさせていただきます。定員は1枠(30分ごと)15名迄とし定員になり次第別枠への変更等をお願い致します。あらかじめご了承ください。

申し込み状況により、日時の変更・お断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。

今回のBコース健診は、血液検査であるため、午後の受診も可能です。

<お願い>

新型コロナウイルス感染症予防対策として下記の通り、ご理解とご協力をお願い致します。

- ・37.5℃以上熱がある方は受診を見合わせてください。
- ・当日体調が悪い場合は受診を見合わせてください。
- ・マスクを着用しての受診をお願い致します。(ご本人様をご用意)
- ・健診前に消毒液で手指の消毒をお願い致します。(会場に準備してあります)
- ・会場では、隣の方と一定の間隔をとっての受診をお願い致します。(三密を避けるため)

<会場での健診機関の対応>

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、下記の徹底をいたします。

- ・スタッフのマスク着用・手指消毒
- ・検査機器・机・椅子などの適時消毒と換気
- ・受診者様が直接触れる検査機器は、可能な限り使用するたびに消毒
- ・下記に該当するスタッフの勤務停止
 - ☐ のどの痛み、咳などの風の症状や嗅覚、味覚の低下といった症状がある場合
 - ☐ 37.5℃以上の発熱がある場合
 - ☐ 新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者との接触がある場合

<ABC検診（胃がんリスク検診）とは>

胃がんリスク層別化検査（ABC分類）とは

胃粘膜萎縮マーカーのペプシノゲン検査と胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃がんの主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ抗体検査を組み合わせることで胃の健康度をA・B・C・Dで分類するのが**胃がんリスク層別化検査（ABC分類）**です。胃の健康度に応じて内視鏡による精密検査を行うなど、効率的に検診を行う方法です。



ペプシノゲン検査

「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで胃粘膜の健康状態（萎縮）の状態を客観的に調べる検査

ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査

胃がピロリ菌に感染していないかを調べる検査。ピロリ菌は胃酸の分泌や胃粘膜の免疫能の働きが不十分な幼少期（4～5歳）頃迄に感染すると考えられています。子供のころに感染しなかった場合、大人になってから感染することは稀だと言われています。

<インフルエンザワクチンの接種を受けられる方へ>

（予防接種を受けることができない方）

- ① 明らかに発熱のある方（37.5℃以上）
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③ 過去にインフルエンザワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある方（他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある方は、予防接種を受ける前に医師へその旨を伝え、判断を仰いでください）
- ④ その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方
- ⑤ 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンは同時接種が可能となりました。（R4.7.22厚生労働省）
その他のワクチン接種からは2週間の間隔を空けてください

<予防接種を受ける際に、事前に医師（主治医）と相談が必要な方>

- ① 発育が遅く、医師や保健師の指導を継続して受けている方
- ② カゼなどのひきはじめと思われる方
- ③ 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある方
- ④ 前回の予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた方
- ⑤ 今までにけいれんを起こしたことがある方
- ⑥ 過去に免疫不全と診断されたことがある方および近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- ⑦ 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患のある方
- ⑧ 薬の投与または食事（鶏卵、鶏肉など）で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある方
- ⑨ 妊娠中・妊娠の可能性のある方